

207  
189

六玉川流の栄

完



国立国会図書館 六玉川流の栄 : 2巻 207-189

ガラス使用

天の八代申

序

本邦六玉川

といふ山塔橋津近江陸奥武蔵紀  
伊の六国少ありて名も異流々々爰小天保  
年仲北橋の婿姑玉川と稱す一人一  
名一川と名を五衛少流一割河少流  
殿せしとてさうりしとて後幸をたぐく百  
室より物産ありこれ多岐六玉川とて三  
塔少流とて笑ひの字もを給物少中  
海向とて程世を給玉が引け付との  
これも又

ひろま月





申の下れ  
 松のあて  
 これとん  
 そめりか  
 あるどく  
 とるりの  
 すんが  
 八世田の  
 信が  
 いふ  
 ねて  
 りと

これハ  
 こんと  
 しんや

のちさありの田んぼもいらん  
 るされアセあれがぬらちの  
 つさぐいでござります

さてもん



ひり  
 系  
 此山  
 六玉川と  
 いつさ  
 母  
 うら  
 りの  
 及一  
 どり  
 そや  
 ある  
 るの  
 いふ  
 やの  
 めり

まん  
 うま  
 のど





三みせんどの井お太どんおぐと  
 るふこりつおのふせりおをささめ  
 りりまこ井おぐたのこめち  
 お運八といふおとちり  
 おのねいといふおとちり  
 てめといふおとちり  
 子ありいごどちりのお  
 えんどうをうけえみ  
 せんのおぬをつるる  
 上まらりおぬをこれと  
 とせのうて  
 井おともちりおぐと  
 しんるおへ  
 系へいりも  
 おともおめ  
 つれられお川  
 が彩造のおあ  
 といふおちをあの  
 りごとししておそ  
 びるる



三みせんどの井お太どんおぐと  
 るふこりつおのふせりおをささめ  
 りりまこ井おぐたのこめち  
 お運八といふおとちり  
 おのねいといふおとちり  
 てめといふおとちり  
 子ありいごどちりのお  
 えんどうをうけえみ  
 せんのおぬをつるる  
 上まらりおぬをこれと  
 とせのうて  
 井おともちりおぐと  
 しんるおへ  
 系へいりも  
 おともおめ  
 つれられお川  
 が彩造のおあ  
 といふおちをあの  
 りごとししておそ  
 びるる





大河のほとり  
 西川ともまれ  
 さことりもはうり  
 ことめたりはゆり  
 せりちりちりゆり  
 さつげつめちりち  
 くれささせ中その  
 くれいをちりちり  
 けささちりちりち  
 せつちえられたれを  
 里八がとちりち  
 ちりちりの里と  
 ちりちり

いりいり  
 ちりちり  
 せいせい  
 せいせい



井出さのりんたなま川と  
 も一ものありいふりちり  
 名をありけあがり  
 りりと井出の玉川  
 とよおあともまそ  
 がささ八が色り  
 ちりちり





5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36  
37  
38  
39  
40  
41  
42  
43  
44  
45  
46  
47  
48  
49  
50











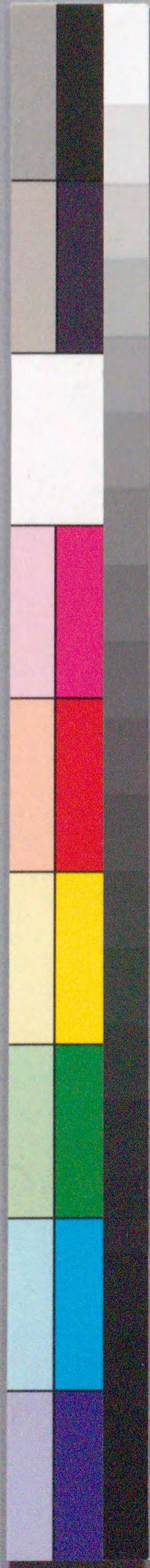
六玉川 下

九

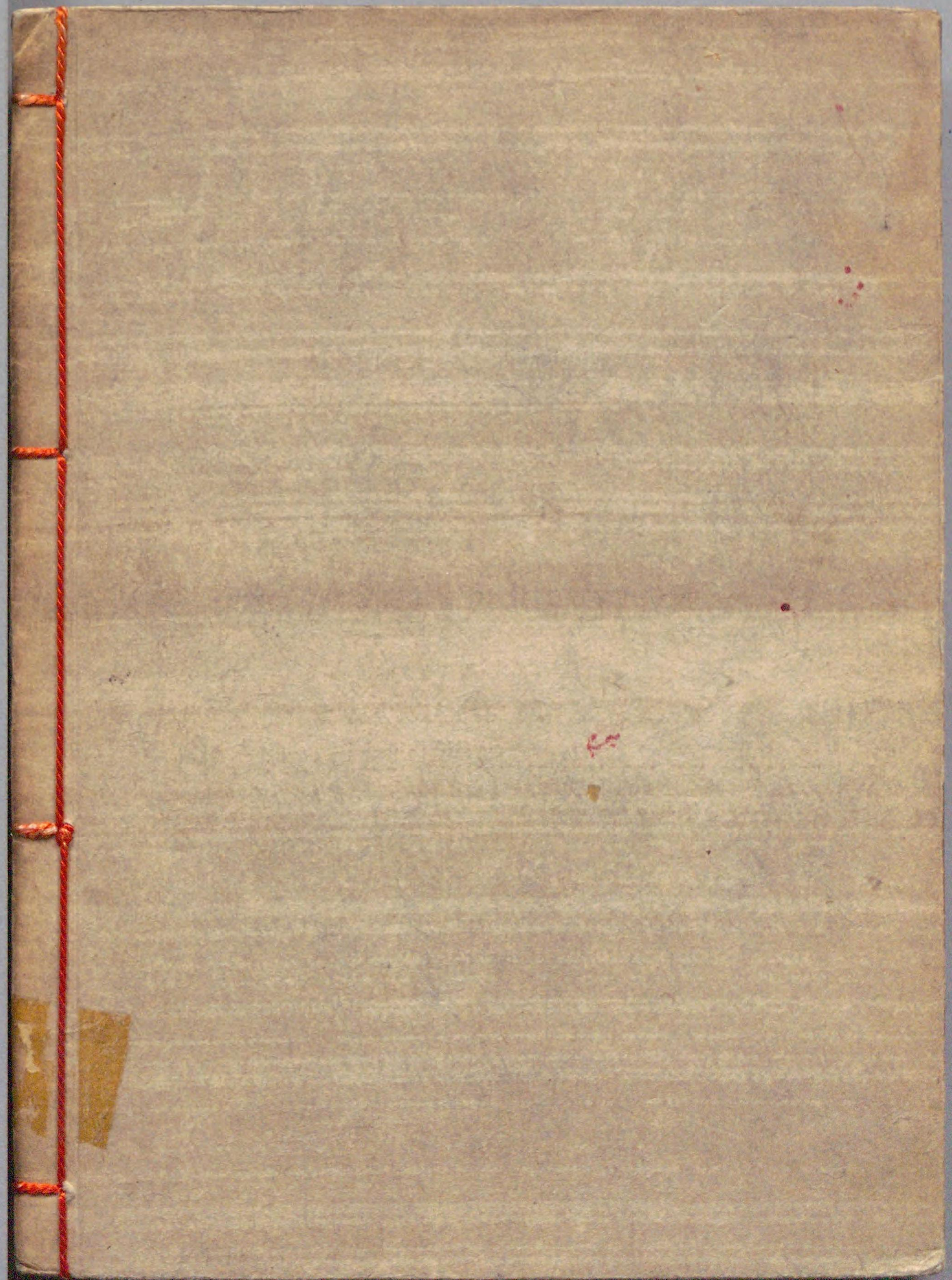








国立国会図書館 六玉川流の栄 : 2巻 207-189



ガラス使用

